

# 箱根組ニュース

第337号 2021年5月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！  
各自保険に入って山に登りましょう！

## 宝登山からの絶景、そして長瀬アルプスの優しい自然林を満喫する11人！

収束しないコロナウイルスに悩まされているが、十分注意して慎重に実施することとした。

4月18日（日）、東武東上線池袋駅7時発の快速急行小川町行きに乗車。小川町で8時14分の寄居行きに乗り換え、寄居に8時30分着。8時47分発の秩父線に乗り換え、9時3分、長瀬駅に到着。

秩父線の景色は昭和を思わせるローカルな雰囲気での周りの景色は乗っているだけで昔に戻るタイムスリップ感満載で子供に返ったように楽しかった。

その昭和のような懐かしい感じのする長瀬駅に降り立ったのは、星野（幸）、佐藤夫妻、有倉、奥村、谷田、星野親子、神吉、神山、戸丸の11名。

駅前広場でゆっくりとストレッチをする。

9時25分、出発。宝登山に向かって広い車道がまっすぐ伸びている。道の両側には土産店などが連なっている。射的場やお蕎麦屋さんも。

まずはロープウェイ駅を目指すのだが、駅前には無料シャトルバスが停車中で目ざとく見つけた方がいたが我々は歩くのが目的なのでスルー。

長瀬駅前の交差点のところには立派な白い鳥居が立っている。その先左側には長瀬舟下りの看板がある。その先には名物竹料理とある。どんな竹料理なのか少し気になる。春爛漫で道端には黄色いタンポポがたくさん咲いている。ガクが反り返っているので外来種だろう。

9時41分、まっすぐ正面は宝登山神社だが。左の坂を上ってゆきロープウェイ駅に向かう。横の自然林には山つつじがオレンジ色のきれいな花をつけている。無料シャトルバスが追い付いてきたが我々とほぼ同時だ。丸く可愛いロープウェイの看板がある。

9時50分、ひとのぼりで山麓駅に到着。チケット売り場前にあった秩父のカエデ樹液で作ったサイダーというのが目がいった。30パーセントも樹液が入っているようだ、確かに樹液の味がする。



50人乗りのロープウェイだが定員を30人にしていているとのこと。我々はぎりぎり全員乗れた。窓からの景色はまさに新緑の世界。優しい色とりどりの緑は息をのむような美しさだ。つつじやシャクナゲもきれいだ。約5分で標高差236mを一気に登って到着。

10時10分には天空?の世界に到着。ジグザグと曲がりながら山頂を目指す。見事なシャクナゲ、大木の山つつじ、八重桜。その先には雄大にそびえている秩父の雄の武甲山が見事に見える。ただセメントのために削られているのは悲しい。展望ポイントでは絶景に息をのむ。ここで有名な蠟梅には緑の細長い実がついていた。

10時35分、宝登山神社奥宮に到着。奥村さんより維持費として2000円いただきました。

現在の収支  
繰越 31463 円  
入金 2000 円  
支出  
News/HP 作成費 500 円  
当日プリント代 100 円  
現在高 32863 円

茶店ではろうばい香や土産物、甘酒やおでんなどが売られていた。鳥居のすぐ奥には小さいながら立派な社が鎮座している。ゆ

目指す。  
10時50分、497.1mの宝登山に到着。記念撮影。南側の展望の良いところで早い昼食と思って荷物を下ろしたが風が強くてとても昼食どころではない。奥宮南の林の辺りに引き返す。杉の木にタープを風よけとして横に這って陣取ることにする。  
11時過ぎ、無事に昼食をスタート。武甲山方向の景色を眺めながら、ちよつとビールで乾杯。梅酒やウイスキーも少し。持ち寄りの総菜とそれぞれのお弁当でゆつくりと楽しむ。  
12時50分、長い昼食を終えて再出発。これまではほとんど歩いていなかったがこれからが本番だ。  
12時54分、再び宝登山頂。西方向に少し降りてゆくと長瀬アルプスの看板がある。野上駅まで約2時間とある。  
先頭は佐藤さん、ゆつくり的確に歩いていく。基本的に

集合 5月30日(日) 京王線新宿駅  
6:29 発 特急 京王八王子行き

北野 7:03 着(乗り換え) 7:04 発(1番線発)  
各駅停車 高尾山口行き  
高尾 7:14 着(乗り換え) 7:24 発  
JR中央本線 普通 河口湖行き  
河口湖 9:13 着(バス乗り換え)  
9:50 発 天下茶屋行き  
三ツ峠登山口 10:15 着

交通費 新宿～河口湖(片道2,122円)

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

<https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi>

●申し込みは 5月28日(金)までに

○持ち物 お弁当、カップ、飲料水、マスク(予備マスク)、傘、雨具、スパッツ、非常食、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

絶景の富士山を期待して行きます。河口湖駅からバスで三ツ峠登山口まで、下山は府戸尾根経由で河口湖駅へ。

※電車バス内など、混雑時はマスクを使用しましょう。

5月30日(日)、三ツ峠山(1785.2m)  
レギュラーコース 歩行約5時間40分  
(上り2時間、下り3時間40分)





は下ってゆくコースだ。少し下ってまた穏やかな道になる。

いくつか階段状の道を降りてきたが、1時10分頃、長い階段状の坂を下

りる。登りでなくてよかったと思った。1時22分、いったん車道に出る。西側からの宝登山の登山口になる。標識横に毒キノコ注意の看板がある。きつと毒キノコの被害者が出たのだろう。豚コレラのイノシシの看板も。

しばらくは車道歩きだが車もなく林の中で気持ちがいい。

1時35分、左に長瀬アルプスの看板があり、分岐点だ。小休止。頭上には白く薄い月が誰かが「大根月」といったような。薄切りの大根のような月だった。

まさにここからが長瀬アルプスという感じだ。穏やかで優しい自然林、雑木

林、クスギ林という感じだ。気持ちの安らぐ風景だ。高さ4〜5メートルだろうが、ナンジャモンジャの木と誰かが言っていた。白くふさふさの花をたくさん咲かせている。あちこちに何本も見られた。緩やかで優しい上り下りが気持ちいい。2時5分、右に氷池への分岐。多分天然氷の作られているあの氷池だろう。淡い緑の林を抜けるとヒノキ林もある。山つつじの赤がきれいだ。白く可愛い小さなチゴユリの花も咲いている。2時30分、天狗山分岐。天狗や前のルートは右に戻るように鋭角についている。薄い黄色のウツギと思われる花も咲いている。



咲いている。

2時36分、赤いポストが現れる。私有地の森のようで、協力金を100円入れてくださいと書いてある。

ナンジ

ヤモンジャがたくさん咲いている。<sup>3</sup>2時56分、道は右に下っていく。尾根を外れて集落のほうに向かっているようだ。キイチゴの白い花が咲いている。ヤマブキの鮮やかな黄色の花も。

3時8分、集落に降りてきた。突き当りを左に曲がると公衆トイレがあるようなので駅とは反対側だがそちらに向かう。

3時18分、長瀬アルプス観光トイレに到着。新しくとてもきれいなトイレだ。

野上駅を目指すのだが、駅前には何もないので少しルートを変えて畑の間を通ってコンビニへ。のどの渴きをいやす飲み物とおつまみを買って野上駅へ。

野上駅に着くと、まもなく電車が来てそのまま乗り込むと、なんと急行秩父路6号だったようで急行料金200円程を支払ってあつという間に寄居駅に到着。

寄居駅で解散。数名は駅のホームの待合室で少し人目を気にしながら小さな打ち上げ。一本後の電車で池袋駅に向かう。

長瀬アルプスの自然林が印象的な一日でした。長瀬北アルプスというのもあるようでいつか行ってみたいと思う。



